

2023年1月30日

2022年度 聖路加国際大学大学院看護学研究科  
課題研究

成人の大麻に対する意識調査  
—意思決定に関わる要因に着目して—

Survey of Adult Cannabis Attitudes  
-Focusing on Factors Related to Decision Making-

21MN024

氏名 高津 知世

## 論文要旨

### 【目的】

本研究の目的は、これまでに大麻の使用経験がなく、大麻を使用しない意思決定をしている者の大麻に対する意識の実態を把握し、大麻を使用しない意思決定に関わる要因を明らかにすることである。

### 【方法】

本研究は、質的記述的研究である。大麻やそれに準じた違法薬物の使用経験がない4名に半構造化インタビューを実施し、分析した。なお、本研究は聖路加国際大学研究倫理審査委員会の承認を受けた（承認番号：22-A048）。

### 【結果】

大麻の使用経験がない者の大麻を使用しない意思決定に関わる要因として、11のカテゴリが抽出された。【大麻使用により健康被害が生じるイメージがある】、【嗜好用大麻及び医療用大麻であっても使用しても良いと捉えていない】、【大麻使用による健康被害を他の違法薬物と比較して軽視していない】では、大麻使用による健康被害を重く受け止める姿勢がみられた。【違法薬物に対して嫌悪や恐怖の感情を抱いている】、【大麻使用者と自身との立場の境界を明確にしている】では、違法薬物とその使用者に対する恐怖・嫌悪・軽蔑感情を抱いていた。【自身が設定する超えてはならない一線がある】、【大麻使用者は普通から逸脱した状態にあるイメージがある】では、法規制を遵守する姿勢とは異なる、自らの経験や価値観に基づいた意識があった。【大麻使用により人生が望まない方向へ進むイメージがある】、【大麻使用による自身の社会的損失を予測している】、【自身の生活に大麻の必要性を感じていない】では、大麻は自分の人生において不必要な物と認識していた。同時に、【外的要因が大麻使用に至るリスクを高めると認識した上で対処行動を取っている】ことが明らかになった。

### 【結論】

大麻の使用経験がない者は、嗜好用大麻や医療用大麻を含めた大麻の使用による健康被害を重く受け止めていた。また、違法薬物やそれらの使用者に対する恐怖・嫌悪・軽蔑感情により引き起こる対処行動や意識が、結果的に大麻を使用しない意思決定に結び付いていることが推察された。さらに、法規制を遵守する姿勢とは異なる、大麻使用を容認しない個人やコミュニティの信念を醸成することが必要であると推察された。そして、大麻は自分の人生において不必要な物であると認識し、大麻使用に至るリスクの自覚と対処行動を取るとは、大麻使用に至るリスクを低減させると推察された。以上のことから、本研究で明らかになった大麻を使用しない意思決定に関わる要因に着目した教育や普及啓発活動の実施が、大麻使用に対する予防効果を期待できると考える。